

## 若者などへ納税意識啓発

### 浜松市民会議が総会

浜松納税意識啓発市民会議(伊藤升吾会長)はこのほど、浜松市中区で総会を開いて2023年度事業計画を決めた。22年度に続いて若年層と外国人への納税

意識啓発を重点項目とし、税に関するポスターコンテストの開催、多国語対応の啓発動画の作成、SNSでの発信などに力を入れる。ポスターコンテストはこ

れから納税者になる世代の税への関心を高めようと、22年度に静岡文化芸術大(同区)の学生対象に開催した。23年度はさらに幅広く作品を募り、市内各所に掲示する。伊藤会長は「納税を通じて、自らの地域を自ら支える」意識を高めるため、連携して活動を展開

したい」と呼びかけた。市民会議は法人会、青色申告会といった税関連団体と商工団体、報道機関などと22団体で構成している。官民連携の納税促進活動と市の収納対策が効果を上げ、08年に約82億円だった市の累積滞納額は、21年には19億円台まで減少した。